

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラストーnextWIN GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズ(以下「ファンド」といいます。))は、「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.ーゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ」(以下「マスター・ファンド」といいます。))への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式に投資することにより、長期的な投資元本の成長をめざして運用を行ってまいりましたが、2024年11月19日に償還いたしました。  
ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

第3期末		
純資産総額	3,205千米ドル	
1口当たり純資産価格	米ドルクラス	9.96米ドル
	豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)	9.30豪ドル
第3期		
騰落率	米ドルクラス	18.43%
	豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)	16.69%
1口当たり分配金額	米ドルクラス	該当事項はありません。
	豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)	該当事項はありません。

(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

その他記載事項  
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイトで(www.gsam.co.jp)にて電磁的方法により提供しています。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# Create THE FUTURE

将来のテクノロジー・リーダーが創る未来への投資。

外貨建て  
nextWIN™

## 償還交付運用報告書

ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラストー  
nextWIN GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズ

ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託  
米ドルクラス／豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)

第3期  
作成対象期間：  
2024年1月1日～2024年11月19日(償還日)

代行協会  
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

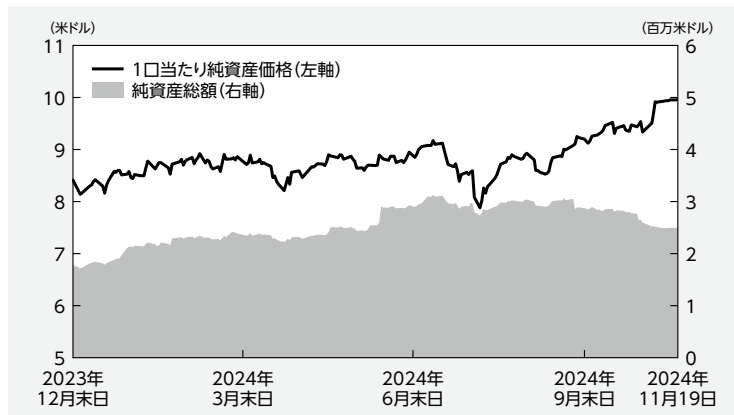
投資顧問会社  
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー

管理会社  
シーエス(ケイマン)リミテッド

## 運用経過

### 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

#### ■米ドルクラス



#### 第2期末の1口当たり純資産価格

8.41米ドル

#### 第3期末の1口当たり純資産価格

9.96米ドル  
(分配金額: 該当事項はありません。)

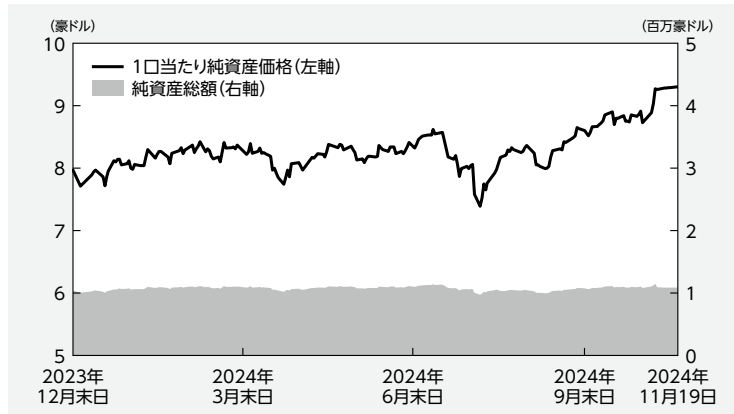
#### 騰落率

18.43%

(注1) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

#### ■豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)



#### 第2期末の1口当たり純資産価格

7.97豪ドル

#### 第3期末の1口当たり純資産価格

9.30豪ドル  
(分配金額: 該当事項はありません。)

#### 騰落率

16.69%

● 1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因

アップラビンやマーベル・テクノロジーなどの株価が保有期間中に上昇したことが上昇要因となりました。

下落要因

モバイルアイ・グローバルやエンフェーズ・エナジーなどの株価が保有期間中に下落したことが下落要因となりました。

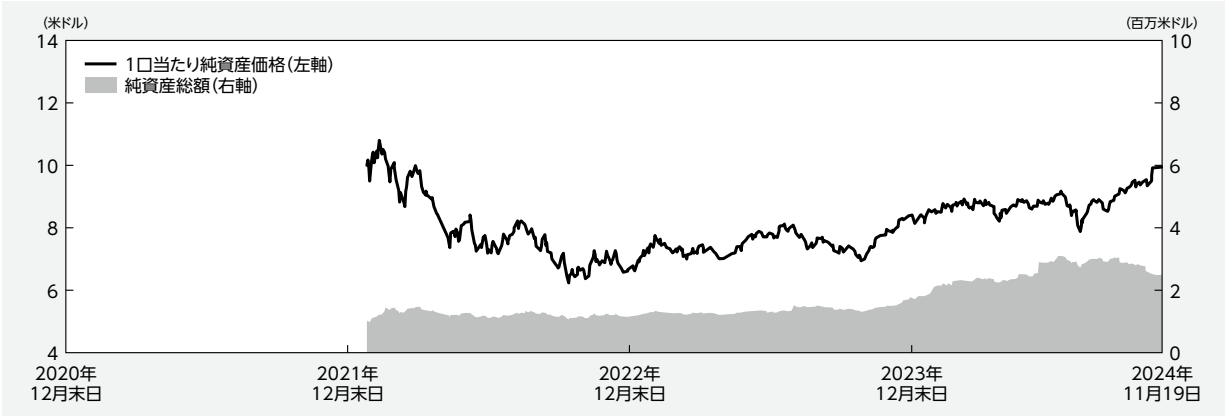
費用の明細

項 目	項目の概要	
管 理 報 酬	年間37,500米ドルの固定報酬および年間27,750米ドルを上限とした変動報酬	ファンドの運営管理全般の業務に対する対価
投 資 顧 問 報 酬	ファンドの純資産総額の0.80%(年率)	ファンドの運用、リスク管理等の業務に対する対価
販 売 会 社 報 酬	ファンドの純資産総額の0.80%(年率)	ファンドの販売・買戻しの取扱い、受益者への通知等の業務に対する対価
代行協会員報酬	ファンドの純資産総額の0.03%(年率)	目論見書等の配布、純資産価格の公表等の業務に対する対価
受益者サービス報酬	ファンドの純資産総額の0.05%(年率)または年間20,000米ドルのいずれか低い方を上限とします。	ファンドの販売・買戻し受付業務支援等の業務に対する対価
その他の費用(当期)	7.06%	受託報酬、管理事務代行および保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬、設立費用、監査費用、弁護士費用、印刷費用、有価証券売買時の売買委託手数料、保管費用等の実費 ファンドが投資するマスター・ファンドの投資証券に関して、運用報酬または販売手数料は課されません。マスター・ファンドの運営費用は、原則としてマスター・ファンドの資産から支払われるため、ファンドは、マスター・ファンドの投資者として、当該費用を比例按分で負担します。

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。また、当期につきましては、運用報告書(全体版)の「V. ファンドの経理状況 (2) 損益計算書 包括利益計算書」に記載の費用の払戻しが行われていますので、実際の報酬・費用の料率は上記とは異なります。詳細は、「財務書類に対する注記 3. 重要性がある会計方針の概要(b) 投資取引、関連投資収益および運営費用」をご参照ください。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

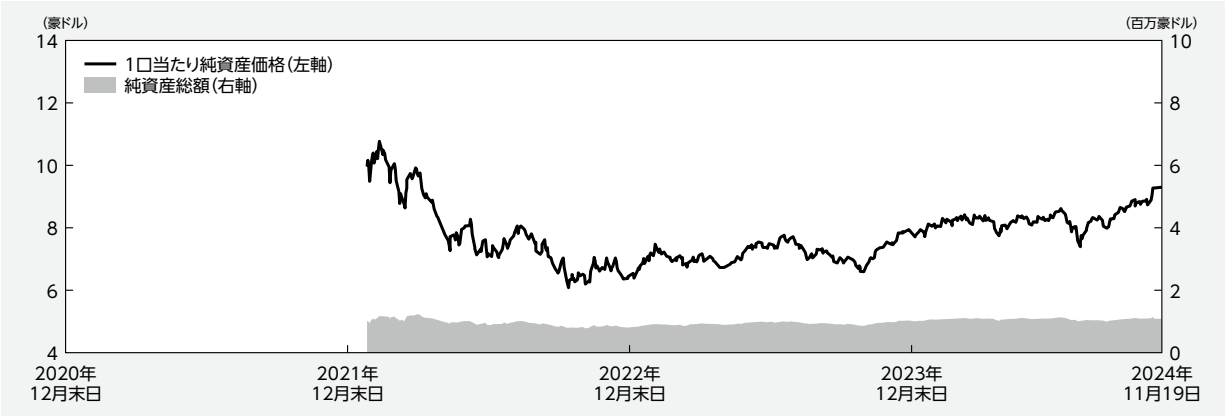
■米ドルクラス



	—	—	—	設定日 2022年 1月25日	第1期末 2022年 12月末日	第2期末 2023年 12月末日	第3期末 2024年 11月19日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	—	—	—	10.00	6.65	8.41	9.96
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	—	—	—	該当事項はありません。		
騰落率 (%)	—	—	—	—	−33.50	26.47	18.43
純資産総額 (千米ドル)	—	—	—	1,000	1,152	1,774	2,496

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

■豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)



	—	—	—	設定日 2022年 1月25日	第1期末 2022年 12月末日	第2期末 2023年 12月末日	第3期末 2024年 11月19日
1口当たり純資産価格(豪ドル)	—	—	—	10.00	6.42	7.97	9.30
1口当たり分配金額 (豪ドル)	—	—	—	—	該当事項はありません。		
騰落率 (%)	—	—	—	—	-35.80	24.14	16.69
純資産総額 (千豪ドル)	—	—	—	1,000	808	1,038	1,087

## 投資環境について

---

当期の株式市場は、2023年の堅調なモメンタムが継続し、一段と上値を追う展開となりました。好調な企業業績や生成AI（人工知能）関連需要の拡大などを背景に、上旬にかけて株式市場は上昇しました。中東情勢の緊迫化や米利下げ期待の後退などを受けて、一時軟調に推移したものの、その後は、金利上昇の一服や、市場での企業業績予想の上方修正が相次いだことなどが好感され、米国株式市場は堅調に推移しました。当期半ばごろより、米国の軟調な景気指標などから景気悪化懸念が高まったことで、株式市場は一時大きく下落する局面がありました。しかし、その後徐々に米景気の底堅さが確認され、また利下げの再開なども支えとなり、株式市場は好調に推移しました。当期下旬は、米大統領選が注目されるなか当初接戦が予想されていたものの、トランプ氏の圧勝という結果を受けて、先行き不透明感が払しょくされたことが安心材料となり、株式市場は好調さを維持しました。その後も減税政策や規制緩和などトランプ新政権発足への期待に下支えされ、米国株式市場は底堅く推移しました。

## ポートフォリオについて

---

モバイルアプリ開発者向け広告プラットフォームを手掛けるアップラビンは、本ファンドのパフォーマンスにプラス寄与となりました。同社は主に、モバイルアプリ開発者向けにマネタイズや分析などを目的としたツールを提供しており、成長過程にある市場において独自のAIを活用した差別化されたサービスを展開しています。好調な決算を発表したことで、ソフトウェア事業のさらなる成長や利益率改善などへの期待感が高まり、株価は上昇しました。

イスラエルの自動運転技術開発企業であるモービルアイ・グローバルは、本ファンドのパフォーマンスにマイナス寄与となりました。年初に発表された通期見通しが市場予想を大きく下回ったことで、株価は下落しました。先進運転支援システム(ADAS)向け半導体の需要鈍化や中国市場の減速など、事業環境の悪化も重なり、本ファンドでは全売却を実施しました。

## 分配金について

---

該当事項はありません。

## 今後の運用方針

該当事項はありません。

## お知らせ

ファンドは2024年11月19日付で早期償還されました。

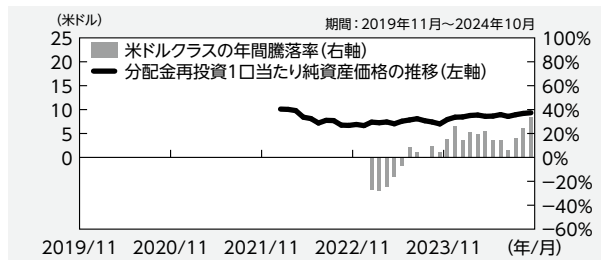
## ファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託	
信託期間	ファンドは、2022年1月25日に設定され、2024年11月19日付で早期償還されました。	
繰上償還	<p>以下の場合(ただし、これらに限りません。)、ファンドは終了します。</p> <p>(a)永続期間(150年)満了の30日前</p> <p>(b)ファンドのすべての受益証券が買い戻された場合</p> <p>(c)ファンドに関する投資顧問契約が終了した場合(管理会社および投資顧問会社が別途合意した場合を除きます。)</p> <p>(d)後任の受託会社または管理会社が任命されることなく受託会社または管理会社が退任しもしくは解任された場合</p> <p>(e)ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルが受託会社に対して書面で通知した場合</p> <p>ファンドの純資産総額が1億米ドル(またはその他の通貨における相当額)を下回った場合、管理会社は、投資顧問会社と協議の上、当該時点で発行済みのファンド証券の全部を、当該ファンド証券が買い戻される取引日に計算される各クラスの受益証券1口当たり純資産価格で買い戻すことができます。この場合、少なくとも30日前までに受益者に対して通知が行われます。</p>	
運用方針	<p>ファンドは、「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ」(「マスター・ファンド」)への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式に投資することにより、長期的な投資元本の成長をめざします。</p>	
主要投資対象	ファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ
	マスター・ファンド	テクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、現在のおよび／または新たなテクノロジーにおいて将来のリーダーになると期待される企業とマスター・ファンドの投資顧問会社が考える、日本を含む世界の企業の株式ならびに／またはそのエクスポージャーを提供する株式関連の譲渡性証券ならびに許可されたファンド
ファンドの運用方法	<p>ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界の株式に実質的に投資します。</p> <p>マスター・ファンドのポートフォリオは、テクノロジーの活用または発展により、コスト構造、収益性および／もしくは競争優位性の改善や維持が見込まれる企業、またはビジネス・モデルの継続性が期待できる企業の株式で構成されます。</p>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>●投資対象の購入、投資および追加の結果、ファンドの資産額の50%を超えて、金融商品取引法第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加は行わないものとします。</li> <li>●空売りされる証券の時価総額は、ファンドの純資産総額を超えないものとします。</li> <li>●ファンドの純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。</li> <li>●ファンドおよび投資顧問会社が運用するすべての外国投資信託が保有する一発行会社の議決権の総数が50%を超えることになる場合、当該発行会社の株式への投資を行いません。ただし、この制限は投資法人への投資には適用しません。当該比率は取得時または時価により計算されます。</li> <li>●私募証券、非上場証券または不動産等、すぐに現金化できない流動性に欠ける資産に対しその純資産総額の15%を超えて投資を行いません。</li> <li>●ファンドは、日本証券業協会の規則に基づき、信用リスクを適正に管理する方法としてあらかじめ管理会社または投資顧問会社が定めた合理的な方法に反することとなる取引を行いません。ファンドは、一般社団法人投資信託協会の規則の第17条の2の要件を満たす「分散型」ファンドに分類されるものとし、同規則の定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーのファンドの純資産総額に対する比率は、同規則にしたがうものとします。</li> </ul>	
分配方針	分配を行う予定はありません。	

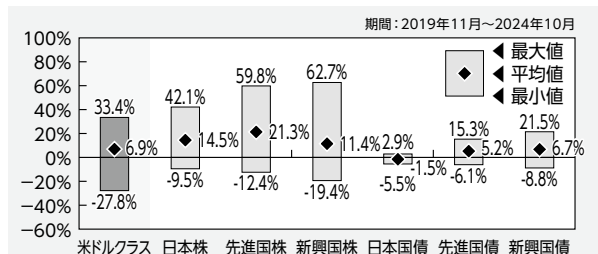
## 参考情報

### ファンドの年間騰落率および 分配金再投資1口当たり純資産価格の推移

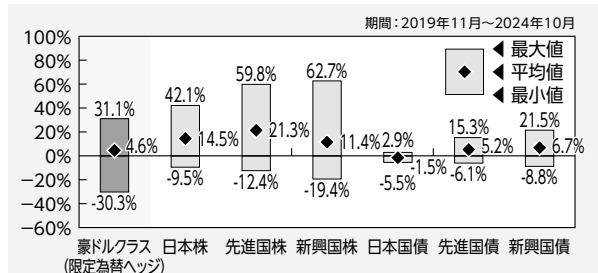
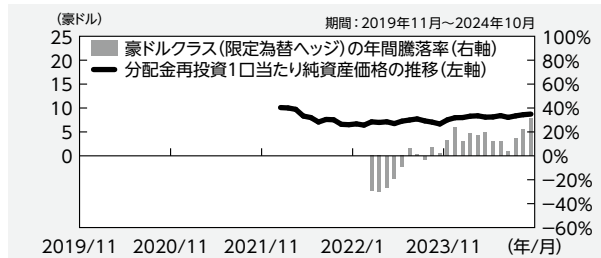
#### ■米ドルクラス



### ファンドと他の代表的な 資産クラスとの年間騰落率の比較



#### ■豪ドルクラス(限定為替ヘッジ)



●ファンドの設定日が2022年1月25日のため、左グラフの分配金再投資1口当たり純資産価格は2022年1月末以降のデータを表示しています。一方、左右グラフのファンドの騰落率については、設定1年後の2023年1月末以降のデータを表示しています。

- グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。ファンドにはベンチマークはありません。

#### ●各資産クラスの指数

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□ 東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。  
 □ MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他の者(以下総称して「MSCI当事者」といいます。)は、MSCIの情報について一切の保証(獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、派生的損害(逸失利益を含みます。)およびその他の一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□ NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

ファンドの分配金再投資1口当たり純資産価格および年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した1口当たり純資産価格および当該1口当たり純資産価格の年間騰落率が記載されており、実際の1口当たり純資産価格および実際の1口当たり純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容(第3期末現在) \_\_\_\_\_  
有価証券等の組入れはありません。

純資産等 \_\_\_\_\_

項 目	第3期末	第3期			
		クラス	販売口数	買戻口数	発行済口数
純資産総額	3,205,032米ドル				
発行済口数	米ドルクラス 250,660.000口	米ドルクラス	150,770.000 (150,770.000)	111,125.000 (111,125.000)	250,660.000 (250,660.000)
	豪ドルクラス (限定為替ヘッジ) 116,875.000口	豪ドルクラス (限定為替ヘッジ)	1,900.000 (1,900.000)	15,250.000 (15,250.000)	116,875.000 (116,875.000)
1口当たり 純資産価格	米ドルクラス 9.96米ドル				
	豪ドルクラス (限定為替ヘッジ) 9.30豪ドル				

(注) ( ) の数は本邦内における販売口数、買戻口数または発行済口数です。